



実例 少年法

河原 俊也 [編著]

A5判・292頁・本体価格3,800円＋税/978-4-417-01861-2



「令和の少年実務」の実情を分かりやすく詳解!

- 事件処理において比較的好く生じる問題や法改正に伴って生じてきた問題を取り上げ、実務的な解決の一例を示す。
- 第1編「設問と解説」は、少年事件を現に担当している裁判官が、第2編「特別論稿」は、ベテラン刑事裁判官、少年事件に精通した研究者、弁護士が執筆。
- 少年事件を担当するに当たってよき「相談相手」となる1冊。

本書の内容

第1編 設問と解説

- 第1問 審判運営
- 第2問 処遇選択
- 第3問 児童相談所から送致されてくる
るぐ犯事件
- 第4問 否認事件
- 第5問 観護措置質問手続と一時帰宅
- 第6問 調査及びカンファレンス
- 第7問 犯罪被害者等への配慮
- 第8問 少年の刑事事件

第2編 特別論稿

- 論稿1 少年事件の抗告審における保
護処分決定の審査
- 論稿2 「対話」に基づく付添人活動
の実践
- 論稿3 少年法改正の内容と
今後の課題

編著者・執筆者紹介

編著者

河原 俊也：千葉家庭裁判所少年部部総括判事

執筆者

- 真鍋 秀 永：大阪家庭裁判所少年部部総括判事
- 藤永 祐 介：千葉家庭裁判所少年部判事
- 佐藤 正 信：高松高等裁判所刑事部部総括判事
(前東京家庭裁判所少年部部総括判事)
- 池上 弘：福島地方・家庭裁判所郡山支部判事
- 平野 望：横浜家庭裁判所少年部判事
- 佐藤 基：東京高等裁判所刑事部判事
(前横浜家庭裁判所少年部部総括判事)
- 堀内 健太郎：札幌家庭裁判所判事補
- 岩寄 貴彦：大阪地方裁判所刑事部判事
(前千葉地方裁判所刑事部判事)
- 江見 健一：東京高等裁判所刑事部判事
- 松田 和哲：弁護士、千葉県弁護士会副会長
(前子どもの権利委員会委員長)
- 川出 敏裕：東京大学大学院法学政治学研究科教授